

平成 25 年 3 月 15 日

地域貢献活動支援報告書

社会連携研究センター長 殿

所 属 生物資源学研究科
氏 名 岡島 賢治

活動テーマ	農地石垣における伝統技術の科学的解明と若手石積技術者養成
実施期間	平成 24 年 4 月 1 日 ～ 平成 25 年 3 月 31 日
活動内容	(1) 具体的な活動実施内容 1) 農地石垣地域・県民一般に対して行う地域シンポジウムにおいて、農地石垣を観光資源として活用している事例（広島県安芸太田町）などの講演などにより、自らが暮らしている地域の地域資源の再発見を促した。 2) 石積み体験教室への地域外住民や学生の参加による農地石垣地域の農地保全と、人的交流による地域の活性化を図った。 3) 学生教育に関して、農村における災害現場の現状認識、災害メカニズムの把握、復旧工法の習得などの実地体験学習効果を図った。 4) 伝統石積み技術の科学的解明への研究対象地の確保と現場観測・試験を行った。 5) 三重県・市町と連携し、現地調査により、農地石垣分布データを蓄積した。 ※以下、片括弧は実施内容の番号に対応 (2) 地域への貢献（地域の発展・活性化への寄与、広がり） 1) 津市において地域シンポジウムを開催し、地域資源としての石垣の再発見を促す講演会を開催し、広報に努めた。また、この資料を整理し、石垣の魅力を再発見できるリーフレットを作成した。 2) 坂本棚田における石積み体験への学生参加を促した。地域の人々から大学への期待や要望などを聞くことができ、大学と地域の交流を深める機会となった。また、亀山市における I ターン就農者との交流もあり、石積み体験を通じて、地域の発展・活性化へ寄与することもできた。 5) 現地調査を行い、三重県内で、亀山市坂本、松坂市深野、伊勢市横輪、南伊勢町船越、熊野市新鹿の石垣について市町および現地の農家へのヒアリングを行い、地域との連携を新たに構築することができた。 (3) 共同実施者との連携状況 共同実施者である三重県農林水産部農業基盤整備課と共同で、石積み体験を行い、地域シンポジウムを主催した。 (4) 大学の教育・研究成果のかかわり 1) 地域シンポジウムにおいて、棚田学会の後援を受けることができ、棚田学会との連携を構築することができた。 3) 学生教育において、研究面では現地調査を行うことで、現場の課題抽出に寄与することができた。また、石積み体験を通じて石積みの崩壊、修復について学生に実地体験を通じて体感させることができた。さらに、この活動を通じて学生と県庁・市町職員との交流の機会を設けることができ、将来の仕事への動機付けともなった。 4) 研究対象地における現場観測として、土壌水分計を設置し、長期観測を行った。この結果、石積みに作用する水圧の存在を実測することができた。成果について、以下の学会にて公表した。

	番一晴，岡島賢治「果樹園の農地石垣における降雨と土壌水分の関係」平成 24 年度農業農村工学会京都支部研究発表会，11 月，新潟 (5) イベント等開催実績（名称、実施場所、参加人数等） ○ 石積み体験教室 開催日時： 平成 24 年 11 月 25 日（日） 9 時～ 開催場所： 坂本棚田（亀山市安坂山町坂本） 開催内容： 石積み修復体験 9 時～12 時 交流会（自由参加） 12 時～13 時 坂本棚田散策（自由参加） 13 時～14 時 主催 三重県農林水産部農業基盤整備課 参加人数： 三重大学 学生 7 名 教員 1 名 一般：5 名 ○ 地域シンポジウム 開催日時： 平成 24 年 12 月 1 日（土）14 時～16 時 開催場所： 津市アストプラザ 4F 会議室 2（アスト津内） 費用： 入場無料 講演名： 「地域再発見！『石垣』－楽し見方・活か仕方－」 講演者： 岡島 賢治（三重大学）「石垣の見方・楽しみ方」 佐々木卓也（棚田学会理事）「石垣保全と観光活用などについて」 主催： 三重大学農業農村整備に関する官学連携グループ 参加人数： 三重大学 学生 22 名 教員 2 名 一般 1 名 (6) その他 1 年の成果として、事業計画で考えていた多くの計画に着手し、ある程度の活動実績を残すことができた。この事業を遂行する上で、地域貢献活動支援の援助は大変ありがたかった。本事業を通じて、農地石垣に関する科学的見地、および若手技術者養成の端緒をつかむことができたと感じている。 ただし、いくつかの反省点がある。1)、2)のイベント開催について、実施することはできたが、初めてのことで広報の手法で問題があった。広報を大学の広報にまかせきりにしていたが、広く一般市民に広報するには、市の広報誌などへの告知などその他の手段も講ずるべきであることがわかった。また、地域との連携の構築や学生へのイベント参加などは、単年度の活動では継続性がないこともわかった。この点に関しては、県内の移動とイベントでの簡易保険程度でも、なんらかの補助があるだけで、多くの機会を作ることができることがわかった。
継続希望の有無	有

「注」活動内容を撮影した写真等があれば、あわせて提出してください。

○ 石積み体験 「石積み体験教室」



写真3 石積み体験の様子

○ 地域シンポジウム 「地域再発見！『石垣』ー楽し見方・活か仕方ー」



写真1 地域シンポジウムの様子

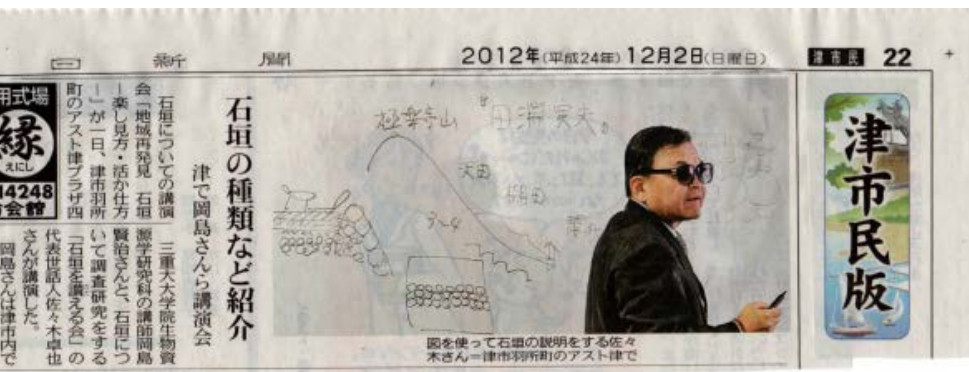


写真2 地域シンポジウムの報道

○ 現地調査



写真 4 学生を伴った現地調査（伊勢市横輪）